

大会競技方法

(シード権決定・組み合わせ抽選・競技方法)

令和6年3月

神奈川県高体連剣道専門部

競技部

関 東 大 会 予 選 個 人 戦

シード権決定と組み合わせ抽選および競技方法

シード権決定方法	組み合わせ抽選方法	競 技 方 法
<p>選抜大会県代表選考会出場校のベスト16のチームの選手をシードする。</p> <p>ベスト4の学校の選手を第1シード</p> <p>ベスト8の学校の選手を第2シード</p> <p>ベスト16の学校の選手を第3シードとしてシードする。</p>	<p>抽選方法 抽選は第1シード、第2シード、第3シード、シード校以外の選手の順番で同一校の選手が準決勝まで対戦しない様に振り分けて行う。</p> <p>個人戦シード表（別紙参照）により組み合わせを決定する。</p> <p>抽選は常任委員会で行う。</p>	<p>① 男女2日間同時開催、各校4名を上限として、トーナメント方式とする。</p> <p>② 試合時間は4分とし、時間内に勝敗の決しない場合には、延長戦を時間を区切り、勝敗の決するまで行う。</p> <p>③ 決勝戦、3位決定戦により1から4位を決定する。</p> <p>④ この予選会の上位4名に関東大会の出場権を与える。5位の者を補欠①、6位の者を補欠②とする。</p> <p>⑤ 補欠は、準々決勝で敗退した4名で再度抽選をしないで決定戦を行い5位、6位を決定する。（7位8位決定戦は行わない。）</p>

関 東 大 会 予 選 団 体 戦

シード権決定と組み合わせ抽選および競技方法

シード権決定方法	組み合わせ抽選方法	競 技 方 法
<p>選抜大会県代表選考会出場校のベスト16をシード校とする。</p> <p>ベスト4を第1シード</p> <p>ベスト8を第2シード</p> <p>ベスト16を第3シードとしてシードする。</p>	<p>抽選方法 抽選は第1シード、第2シード、第3シード、シード校以外の順番で行う。 1位校と2位校は決勝まで対戦しないようシードする。3位校、ベスト8校、ベスト16校については全国選抜予選の対戦を考慮せず、それぞれのシード位置に抽選する。</p> <p>第1シード 選抜大会県代表選考会1位校と2位校は決勝まで対戦しないように3位校は抽選により第1シード位置にそれぞれ抽選する。</p> <p>第2シード 第2シードの位置にそれぞれ抽選する。</p> <p>第3シード 第3シードの位置にそれぞれ抽選する。</p> <p>シード校以外 フリー抽選とし、その際同地区の学校同士の1回戦対戦を考慮して避けるなどの規制は一切ないものとする。</p> <p style="text-align: center;">抽選は常任委員会で行う。</p>	<p>①各校1チーム（正選手5名補欠2名）によるトーナメント方式とする。</p> <p>②試合時間は4分引き分けとする。</p> <p>③チームの対戦が引き分けの場合、任意の選手により代表決定戦を4分一本勝負で行う、時間内に勝敗の決しない場合には延長戦を時間を区切り、勝敗の決するまで行う。</p> <p>④決勝戦、3位決定戦により1位から4位を決定する。</p> <p>⑤関東大会神奈川県開催年度以外は5位～8位の順位決定戦は代表者での新たな抽選は行わず、準々決勝で敗退した左サイド同士、右サイド同士で試合を行いさらに敗者同士の試合を行い7位、8位の順位を決定する。上位7校に本大会出場権を与える。（5位は2校となる）</p> <p>⑥関東大会神奈川県開催年度はベスト8校のすべてに本大会出場権を与える。</p>

全 国 大 会 予 選 個人戦

シード権決定と組み合わせ抽選および競技方法

シード権決定方法	組み合わせ抽選方法	競 技 方 法
<p>関東大会予選団体戦出場校のベスト16までのチームの選手をシードする。</p> <p>ベスト4の学校の選手を第1シード</p> <p>ベスト8の学校の選手を第2シード</p> <p>ベスト16の学校の選手を第3シードとしてシードする。</p>	<p>抽選方法</p> <p>抽選は第1シード、第2シード、第3シード、シード校以外の選手の順番で同一校の選手が決勝まで対戦しない様に振り分けて行う。</p> <p>個人戦シード表（別紙参照）により組み合わせを決定する。</p> <p>抽選は常任委員会で行う。</p>	<p>① 男女1日同時開催、各校2名を上限として、トーナメント方式とする。</p> <p>② 試合時間は4分とし、時間内に勝敗の決しない場合には、延長戦を一本勝負、時間を区切り、勝敗の決するまで行う。</p> <p>③ 決勝戦、3位決定戦により1位から4位を決定する。 (5位から8位決定戦は行わない)</p> <p>④ この予選会の上位2名に全国大会の出場権を与える。3位の者を補欠①、4位の者を補欠②とする。</p> <p>⑤ 女子の優勝者は都道府県対抗大会の選手として推薦する。</p>

全 国 大 会 予 選 団 体 戦

シード権決定と組み合わせ抽選および競技方法

シード権決定方法	組み合わせ抽選方法	競 技 方 法
<p>関東大会予選団体戦出場校のベスト16までをシード校とする</p> <p>ベスト4を第1シード</p> <p>ベスト8を第2シード</p> <p>ベスト16を第3シードとしてシードする。</p>	<p>シード校以外 フリー抽選とし、その際同地区の学校同士の1回戦対戦を考慮して避けるなどの規制は一切ないものとする。</p> <p>第3シード 第3シードの位置にそれぞれ抽選する。</p> <p>第2シード 第2シードの位置にそれぞれ抽選する。</p> <p>第1シード 関東大会予選1位校と2位校は決勝まで対戦しないようにシードする。</p> <p>3位校、ベスト8校、ベスト16校については関東予選団体戦の対戦を考慮せず、それぞれのシード位置に抽選する。</p> <p>抽選方法 抽選は公開形式で行い、各校代表生徒又は顧問による抽選を行う。 抽選会欠席校は競技部で責任抽選を行う。 (詳細は別紙により全国大会予選会要項と一緒に連絡する。)</p>	<p>① 各校1チーム(正選手5名補欠2名)によるトーナメント方式とする。</p> <p>② 試合時間は4分引き分けとする。</p> <p>③ チームの対戦が引き分けの場合には任意の選手により代表決定戦を4分一本勝負で行う、時間内に勝敗の決しない場合には延長戦を時間を区切り、勝敗の決するまで行う。</p> <p>④ 優勝校に本大会出場権を与える。</p>

新 人 大 会 個 人 戦

シード権決定と組み合わせ抽選および競技方法

シード権決定方法	組み合わせ抽選方法	競 技 方 法
	<p>抽選方法 シード選手については特に設けず、フリー抽選とする。</p> <p>選手表を4つの山に分け準決勝までは同一校の選手が対戦しないように抽選する。</p> <p>抽選は常任委員会で行う。</p>	<p>① 各校2名を上限として、トーナメント方式とする。</p> <p>② 全国大会予選団体戦の上位8チームは4名を上限として出場できる。</p> <p>③ 試合時間は3分とし、時間内に勝敗の決しない場合には、延長戦を時間を区切り、勝敗の決するまで行う。</p> <p>④ 決勝戦により1・2位を決定する。3位は、準決勝で敗退した2名とする。</p> <p>⑤ 男子優勝者は都道府県大会の選手として推薦する。</p>

新 人 大 会 団 体 戦

シード権決定と組み合わせ抽選および競技方法

シード権決定方法	組み合わせ抽選方法	競 技 方 法
<p>全国大会予選団体戦 出場校のベスト16 までをシード校とする</p> <p>ベスト4を第1シード</p> <p>ベスト8を第2シード</p> <p>ベスト16を第3シードとしてシードする。</p>	<p>抽選方法 抽選は第1シード、第2シード、第3シード、シード校以外の順番で行う。 1位校と2位校は決勝まで対戦しないようシードする。3位校、ベスト8校、ベスト16校については全国大会予選の対戦を考慮せず、それぞれのシード位置に抽選する。</p> <p>第1シード 全国大会予選1位校と2位校は決勝まで対戦しないように3位校は抽選により第1シード位置にそれぞれ抽選する。</p> <p>第2シード 第2シードの位置にそれぞれ抽選する。</p> <p>第3シード 第3シードの位置にそれぞれ抽選する。</p> <p>シード校以外 フリー抽選とし、その際同地区の学校同士の1回戦対戦を考慮して避けるなどの規制は一切ないものとする。</p> <p>抽選は常任委員会で行う。</p>	<p>① 各校1チーム(正選手5名補欠2名)によるトーナメント方式とする。</p> <p>② 試合時間は3分引き分けとする。</p> <p>③ チームの対戦が引き分けの場合には任意の選手により代表決定戦を3分一本勝負で行う、時間内に勝敗の決しない場合には延長戦を時間を区切り、勝敗の決するまで行う。</p>

全国選抜大会県代表選考会

シード権決定と組み合わせ抽選および競技方法

シード権決定方法	組み合わせ抽選方法	競技方法
<p>新人大会団体戦出場校のベスト16までをシードする。</p> <p>ベスト4を第1シード</p> <p>ベスト8を第2シード</p> <p>ベスト16を第3シードとしてシードする。</p>	<p>シード校以外 フリー抽選とし、その際同地区の学校同士の1回戦対戦を考慮して避けるなどの規制は一切ないものとする。</p> <p>第3シード 第3シードの位置にそれぞれ抽選する。</p> <p>第2シード 第2シードの位置にそれぞれ抽選する。</p> <p>第1シード 前大会、新人大会団体戦1位校と2位校は決勝まで対戦しないようにシードする。</p> <p>3位校、ベスト8校、ベスト16校については新人大会団体戦の対戦を考慮せず、それぞれのシード位置に抽選する。</p> <p>抽選方法 抽選は公開形式で行い、各校代表生徒又は顧問による抽選を行う。 抽選会欠席校は競技部で責任抽選を行う。 (詳細は別紙により全国選抜大会県代表選考会要項と一緒に連絡する。)</p>	<p>① 各校1チーム（登録選手7名）によるトーナメント方式とする。</p> <p>② 試合時間は4分引き分けとする。</p> <p>③ チームの対戦が引き分けの場合、任意の選手により代表決定戦を4分一本勝負で行う、時間内に勝敗の決しない場合には延長戦を時間を区切り、勝敗の決するまで行う。</p> <p>④ 予め登録した7名の選手より5名の選手をオーダー表に記入して出場させる。 (登録選手によるオーダーの変更は試合ごとに認める。)</p> <p>⑤ 優勝校に本大会出場権を与える。</p> <p>⑥ 本大会に2校出場の場合は準優勝校にも出場権を与える。</p> <p>その試合方法は別途定めるものとする。 (大会要項で確認。)</p>

各大会団体戦のシード位置

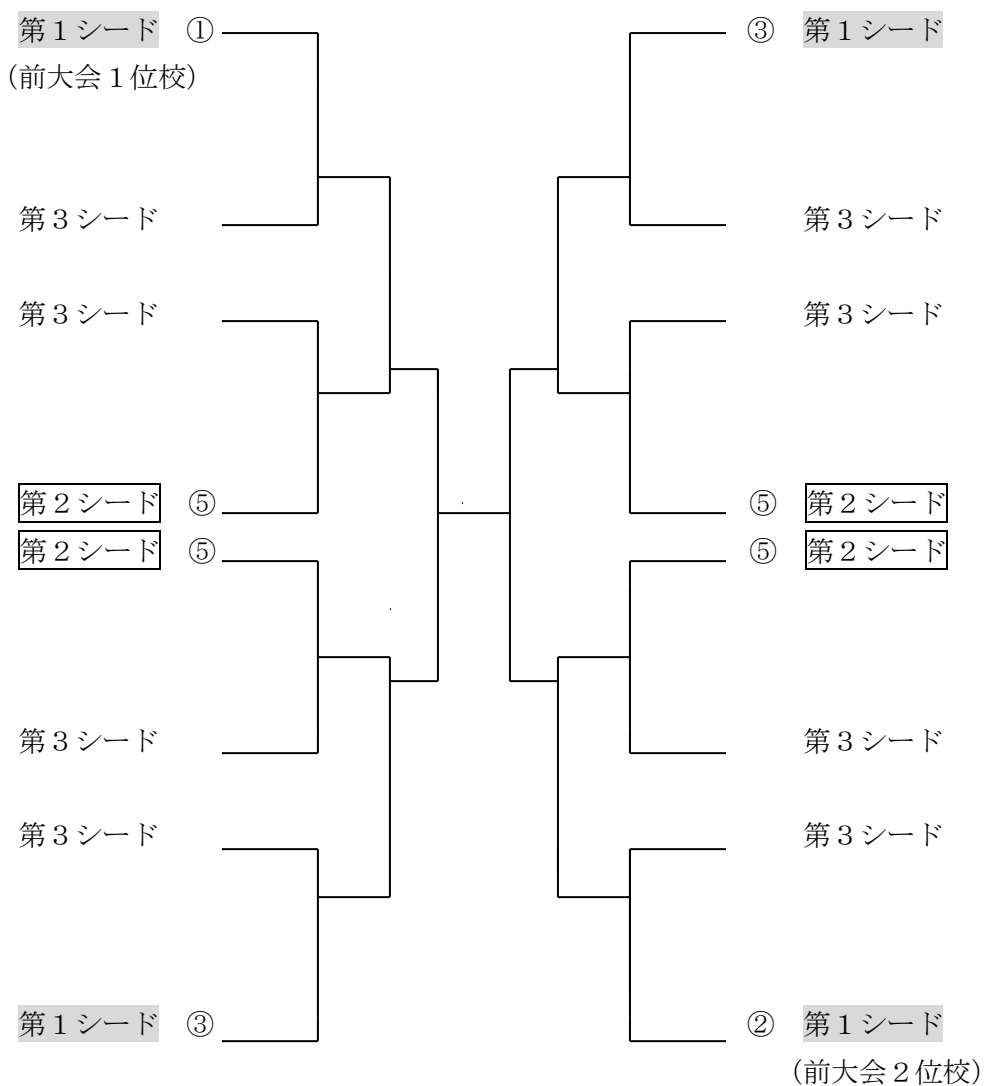
①一位校、②二位校、③三位校、⑤五位校は前大会予選（順位決定トーナメントを行った）後の順位となり次の大会予選会のシード位置を表す。

（ →全国選抜選考会→関東大会予選→全国大会予選→新人大会 ）

第1シード=ベスト4

第2シード=ベスト8

第3シード=ベスト16

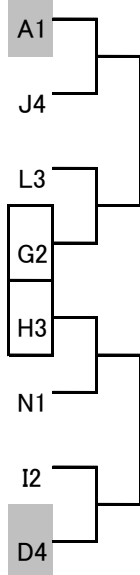


関東大会予選個人戦シード位置

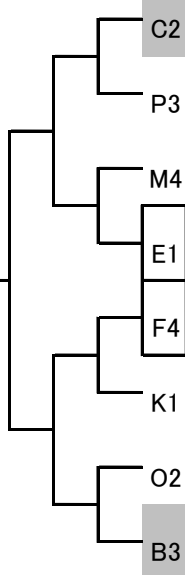
【関東予選団体組み合わせに準ずる】

A 選抜予選 1 位校 B 選抜予選 2 位校 C 選抜予選 3 位校 D 選抜予選 3 位校
 E 選抜予選 5 位校 F 選抜予選 5 位校 G 選抜予選 5 位校 H 選抜予選 5 位校
 I ~ P は選抜大会予選のベスト 16 校

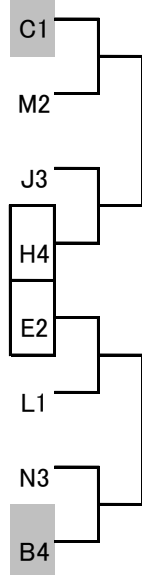
◎第1会場



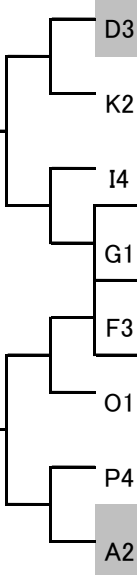
◎第2会場



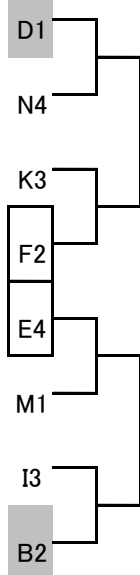
◎第5会場



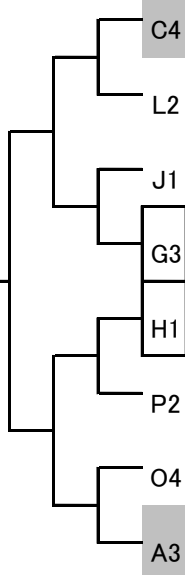
◎第6会場



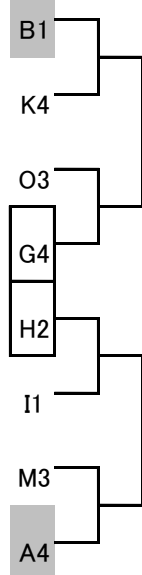
◎第3会場



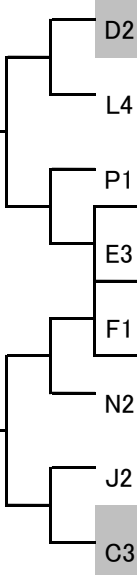
◎第4会場



◎第7会場



◎第8会場



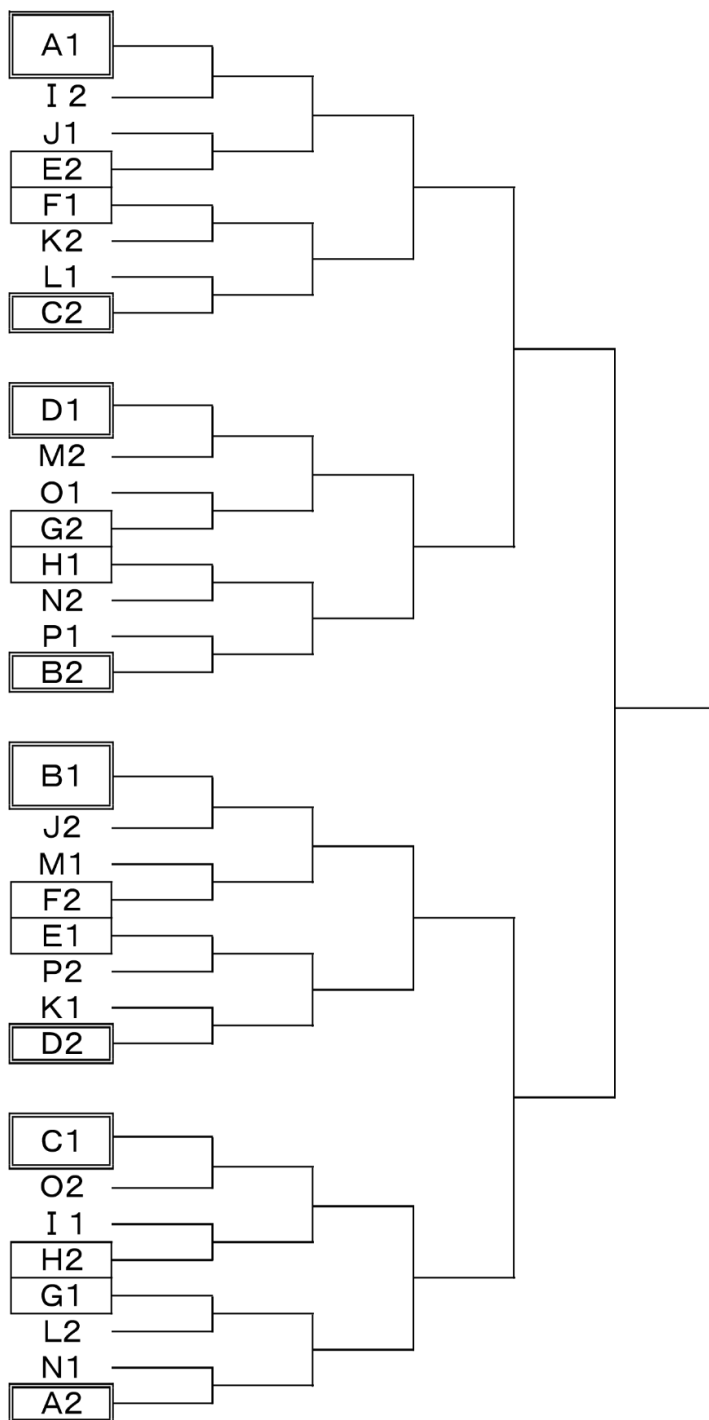
全国大会予選個人戦シード位置

【全国予選公開抽選会組み合わせに準ずる】

A~D 第1シード=ベスト4

E~H 第2シード=ベスト8

I~P 第3シード=ベスト16



確認事項

1. シード校欠場の繰上げシード決定方法 (組み合わせ抽選会時点)

- ①. シード校欠場の場合は、その欠場したシードの前段階のシード校より抽選により繰上げる。抽選は、フリー抽選とする。
例) 第1シード(ベスト4)で1チーム欠場の場合には、第2シード(ベスト8)のチームから抽選により1チーム繰上げる、以下順次抽選を繰り返し第3シードまで繰上げる。
- ②. 全ての大会に適用する。 ③. 男女同じ内容で実施する。

2. 大会申し込みと選手オーダー(表)について

- ①. 大会申し込みは、各大会要項により定められた期日を必ず守り所定の様式により申し込む。(※切日必着)
- ②. 関東予選団体戦・全国総体予選団体戦は予め7名の選手で申し込み登録し、大会当日開会式が始まる前までに掲示用のオーダー用紙を本部へ提出する。(オーダー用紙の左上にトーナメント番号を記入する。)これを正式なオーダーとし以後の順番の入れ替えはできない。
ただし選手交代は登録した選手であればその試合場の審判主任に該当の試合が始まるまでに申し出れば可能。一度交代した選手は再度の出場はできない。
全国選抜大会選考会は、7名の登録選手より5名の選手を出場させ、登録選手の中の選手交代・オーダー変更は毎試合自由とする。
- ③. 登録選手の変更・・・やむをえない事情で選手の変更がある場合には、大会当日の開会式開始までに所定の選手変更届けに必要な事項を記入し大会本部に提出する。
ただし、人数は2名までとする。また、新入部員参加等による追加登録も同様の手続きをとる。
個人戦の選手変更については、組み合わせ抽選会前日までに大会事務局(大会申し込み先)に同様の手続きを取り提出する。抽選後は認めない(棄権負けとなる)。

3. 竹刀の検量について

- ①. 長さ:男女とも117cm以内 重さ:男子 480g以上 女子420g以上
 剣先の太さ:男子26mm女子25mm以上(直径) 先皮の長さ:男女50mm以上
- ②. 大会当日に開会式開始前から所定の場所で行うが、鏢が根元までしっかり入るか、中結がしっかりと巻かれているか、破損はないか、など十分に点検しておく。
- ③. 検量合格印のない竹刀を使用しないように注意する。
 次回大会で同じ竹刀を使用する場合は検量合格印を消すようにする。

4. 礼法について

①. 個人戦

「1 試合目開始」 選手は立礼の位置で待機する。放送の合図で正面に礼をする。
「審判長の合図で一斉に開始」する。

②. 団体戦

「1 試合目開始」 待機場所に監督（監督代行）は選手と共に整列する。
選手は「速やかに立礼の位置へ整列する。」放送の合図で正面に礼をする。
「審判長の合図で一斉に開始」する。

待機場所の入れ替わりは「面・小手・竹刀」を待機場所近くに置き、先に団体の礼を済ませる。その後、面・小手・竹刀を持ち待機場所で一礼して着座する。

監督は相互の礼の後、選手を待たずに速やかに着座する。

選手は本部席側に大將が着座する。外側に監督が着座する。

双方の選手は正対して同時に立礼をし、正しい礼法を行えるようにする。

円陣を組んで掛け声をかけたり、胴突きや握手などは行わない。

5. その他

①. 大会時の集合時間については近隣の方々の迷惑にならないように良識ある集合時間の設定をする。開館後、入場については選手を優先する。

②. 各自宅・学校から大会会場までの生徒移動については、一般の方々に迷惑のかけられないようにする。

③. 観覧席の使用について良識のある使い方をする。荷物等で席取りをしないようにする。

観覧席からの応援については声援はしない。フラッシュでの撮影は、禁止する。
試合場フロアでのビデオ撮影は禁止とする。

④. ウォーミングアップのときは向き合う方向を一方の選手が本部に向くように全員合わせることにする。各学校の顧問はウォーミングアップのときに安全管理を徹底する。

※個人戦、1校1名での参加者は第5試合場付近で他校選手とウォーミングアップを行ってください。（放送で案内いたします。）

⑤. 各大会開会式終了後の集合（ミーティング）については第1 試合開始時間、試合進行に支障のない時間帯、場所で実施する。

⑥. 公開抽選会（全国総体予選、全国選抜予選）の生徒の参加をお願いします。

⑦. 各大会のトーナメント表は高体連剣道専門部ホームページに掲載する。各学校でプリントアウトして下さい。（大会当日は配布しない。）